

丁寧な鉄筋加工・組み立てで取引先から厚い信頼
鉄筋自動曲装置で工場での作業効率がアップ
工期の短縮でさらなる受注増を狙う

有限会社共栄工業

■事業

設備導入で生産性向上を図り、
工期の短縮により受注量の増加を図る

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

鉄筋自動曲装置 TRB-10-5IV

経営理念

きっちりと丁寧な仕事でお客様のニーズに応える

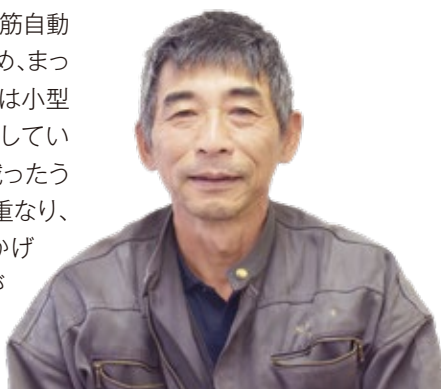
作業も周辺もきれいに仕上げる 見えないところだからこそ丁寧に

出雲市斐川町の有限会社共栄工業は、建築土木の鉄筋加工と組み立て一式を請け負っている。鉄筋工として米子市の会社に勤めていた先代が、1981（昭和56）年に創業した。現在は一般住宅の基礎鉄筋工事を中心に、主に県東部の現場で作業している。かなり大規模な同業者が近隣に複数存在する中、作業の丁寧さと確かさを売りにしてきた。

常に心掛けているのは、きれいに仕上げること。建物の骨組みにあたる鉄筋は、構造物が完成すれば、コンクリートなどで隠れて見えなくなってしまう。だからこそ「きっちりと、丁寧」に作業を行う。図面を基にした検査があるが、さらにレベルの高い仕上がりを心掛けており、「それが自分たちのプライドでもある」と廣戸社長。それは父である先代が、背中であげてくれたことだった。作業を丁寧に、きれいに終えたら、作業場所の周りも整理整頓して仕事を終える。言葉で言われたことはないが、自然と父の仕事ぶりを手本にするようになり、今では会社全体で取り組んでいる。その丁寧さが、取引先の信頼につながり、会社の強みとなった。

鉄筋自動曲装置で複雑な加工も一気に 効率が上がり、受注ロスが減少

工期短縮による受注量の増加を図るため補助事業を活用して鉄筋自動曲装置を導入した。導入した機械は、上下の2方向に曲げられるため、まっすぐな鉄筋を複雑な形に曲げる場合、一気に加工できる。これまでは小型のベンダーを何度も使い、その度に長さなどを計測しながら作業をしていただけに、工場での作業時間が大幅に短くなり、従業員の負担が減ったうえ、工程全体の期間短縮が可能になった。そのため、仕事の依頼が重なり、これまでは断らざるを得なかったケースでも、導入した機械のおかげで日程の調整が可能となり受注ロスも減った。以前から従業員が「導入したい」と希望していた機械でもあり、実際に稼働させて、効率の良さを実感している。今後は既存取引先からの更なる受注や、新しい取引先からの受注獲得などを視野に入れている。



代表取締役 廣戸進



1

鉄筋自動曲装置で複雑な加工が一気に可能に

2 用途に合わせて、様々な形状に曲げられた鉄筋



2

厳しい状況の中でもクレームのない仕事を 若い世代に仕事の魅力をアピール

鉄筋工の仕事をもっと知って欲しいとの思いがある。大工職やとび職は建築現場でよく見かけるが、鉄筋工を意識してくれる人はまだまだ少ない。「もう少し僕らの仕事を見て興味を持ってもらえれば」と廣戸社長。それが、鉄筋工になりたいという若い人を増やすことにもつながる。手に技を持つ職人の世界は、数年後には独立して親方にもなれる「夢のある仕事」。その魅力を若い世代に伝えようと、廣戸社長が理事を務める島根県鉄筋工事業協同組合で、工業高校を訪問し、鉄筋を結束する体験講座などを積極的に開催している。

建設業界もコロナ禍などの影響を大きく受け、特に材料の単価が上昇が続いている。受注から実際の作業まで数カ月かかれば、その間の材料費の値上がりが大きくのしかかってくる。今後、仕事量が減ることも予想される。

それだけに、クレームのない仕事を心掛けている。厳しい状況下でも、取引先に選んでもらうことで、経営が成り立っている。その信頼を崩すわけにはいかないからこそ、見えない部分でも、きっちりと仕事をする。これからの業界のためにできることを探りながら、高いプロ意識で、暮らしを支える鉄筋を組み立て続ける。

Company Data

有限会社共栄工業



社屋外観

代表者名：廣戸 進
設立年：1981（昭和56）年
資本金：3,000千円
従業員数：3名
主たる業種：職別工事業
本社：〒699-0503
出雲市斐川町神庭724-1
電話：0853-72-7290
FAX：0853-72-7144